

プラント状況確認結果(平成26年2月18日～2月25日)

平成26年 2月 25日
福島県原子力安全対策課

○ 平成26年2月18日～2月25日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ この期間において、汚染水貯留H6北エリアのタンク上部からの漏えい報告を受けました。詳細はこちらをご覧ください。

また、平成25年11月18日15時18分、4号機使用済燃料プールからの燃料取出し作業が開始しました。詳細はこちらをご覧ください。

(1) プラント状況(2月25日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 ^{※2}
原子炉 ^{※1} (核燃料)	冷却	注水量 (m ³ /h)	4.5	4.5	4.5	—
		圧力容器 下部温度(°C)	14.4	23.8	22.0	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 ^{※3} (Bq/cm ³)(A系)	1.98×10 ⁻³	検出限界未満	検出限界未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系)(体積%)	0.03	0.00	0.08	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	10.5	9.7	8.0	13.0

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧ください。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1Bq/cm³以下である。

(2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(2月25日午前10時)

最小 2.2(MP-6)～最大 4.8(MP-3) マイクロシーベルト/時 ⇒[計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果(2月24日採取分)

最小 検出限界未満(港湾口、6号機取水口前)～最大 46(1～4号機取水口内北側) Bq/ℓ

(4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果(2月24日採取分)

5,6号機放水口北側に30m: 検出限界未満 ※検出限界値は0.85 Bq/ℓ

1～4号機放水口から南側に1.3km: 検出限界未満 ※検出限界値は0.80 Bq/ℓ

(5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果(2月24日採取分)

西門: 検出限界未満 ※検出限界値は約2×10⁻⁷ Bq/cm³

(6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果(2月24日採取分)

最小 0.022(4号機)～最大 0.36(2号機) Bq/cm³

【特記事項】

・2月19日 23時25分頃、汚染水貯留H6北エリアのタンク上部からの漏えいを確認。その後、2月20

- 日5時40分に漏えいは停止。堰外への漏えい量は約100トンと推定。[詳細はこちら](#)
- ・2月25日 9時45分頃、4号機において使用済燃料プールの冷却が停止。原因は関連するケーブルを工事中に誤って傷つけたことによるもので、14時16分に別系統の電源を起動し冷却を再開。

(問い合わせ 024-521-1917)